

氏名	宇 垣 公 晟
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学 位 授 与 番 号	乙 第 4 9 号
学 位 授 与 の 日 付	昭和38年 9 月30日
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 5 条第 2 項該当)
学 位 論 文 題 目	唾液腺ホルモンの骨髓造血機能に及ぼす影響 —骨髓体外組織培養法による—
論 文 審 査 委 員	教授 平 木 潔    教授 小 坂 淳 夫    教授 妹尾左知丸

#### 学 位 論 文 内 容 要 旨

唾液腺ホルモン（パロチン）が造血臓器としての骨髓組織へ、直接的に如何なる影響を及ぼすかについては未だ他に報告をみない。そこで著者は教室考案の骨髓体外組織培養法を応用し、パロチンを直接培地に添加してその影響を比較検討し、次の如き成績を得た。

パロチンは骨髓造血機能に対してある一定の作用傾向を示し、正常な骨髓白血球系及び骨髓巨核球系細胞に対しては直接促進的作用を有し、一方、骨髓赤血球系に対しては直接影響を認め難いことが識れた。反応、再生不良性貧血並びに所謂バンチ氏病患者における如く造血障害があり、且その障害が著しいと考えられる場合、即ち前者では教室分類の2～5型、後者では骨髓有核細胞数減少の高度の場合に於ては、パロチンの直接影響は認め難く、比較的骨髓造血障害の軽い場合、即ち再生不良性貧血の1型、或は後者では骨髓有核細胞数が正常域に近い場合にはパロチンが直接促進的作用を示すことを認めた。

このことは又、両疾患に対するパロチン治療上のある限界を示唆するものと考えられる。

## 論文審査の結果の要旨

宇垣公晨提出の「唾液腺ホルモンの造血機能に及ぼす影響、一骨髓体外組織培養法による一」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

唾液腺ホルモン（パロチン）が造血臓器としての骨髓組織へ、直接的に如何なる影響を及ぼすかについては未だ他に報告が見当らない。そこで著者は教室考案の骨髓体外組織培養法を応用し、パロチンを直接培地に添加してその影響を比較検討し、次の如き成績を得た。

パロチンは骨髓造血機能に対してある一定の作用傾向を示し、正常な骨髓白血球系及び骨髓巨核球系細胞に対しては直接促進的作用を有し、一方骨髓赤血球系に対しては直接影響を認め難いと述べ、更に再生不良性貧血及び所謂バンチ氏病患者における如く造血障害があり、その障害の程度が著しいと考えられる型に於ては、白血球系に対してもパロチンの直接影響は認め難く、未だ比較的造血障害の軽い場合にのみ、パロチンが好影響を直接与えるとした。

この事は又、両疾患に対するパロチン治療上のある限界を示唆するものと述べている。

更に、参考論文として著者は「最近経験した所謂 Typhobacillose」他七編において基礎的並びに臨床的研究を報告している。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有すると認める。